



将来を見据え、次の世代にも引き継げる 公共施設・公共空間の より良いかたち を実現する

今、多くの公共施設が老朽化し建替えの時期を迎えており、これらを維持するためには多額の更新費用が必要となります。

しかし、今ある施設が建設された当時と、今、そしてこれから迎える未来は様々な状況が異なります。例えば、少子化や高齢化の進展、人口減少に伴う財源不足など、町田市も他の自治体と同様に避けては通れない、多くの課題を抱えています。

その一方で、IT化が進み、今までになかったことができるようになったり、社会の自由度があがり、それぞれの価値にあった選択肢が増えていたり、将来の人々の暮らしやまちの姿はたくさんの可能性に満ちています。

再編によって何をを目指すのか

町田市では、
この公共施設の再編という、今までにない長期的かつ大きな取り組みを通じて
将来にわたってそこで暮らしている

誰もが地域社会の中で誇りを持ち
豊かに暮らし続けられるまちを
みんなと連携して作りたい

と考えています。

今ある資源を活かし
そのための「場」と「しくみ」をつくる
計画＝「公共施設再編計画」

将来をイメージして「より良いかたち」を考える

〔これからの公共施設・空間に求められる要素〕



2015年度 市民ワークショップ
「公共施設の未来をデザインしよう」
からもたくさんのヒントを頂きました

〔これからの公共施設・空間において何をを目指すか〕

● 新たな価値やサービスを創出する豊かな場の創造



● 柔らかな絆でつながる持続可能なコミュニティの形成

「より良いかたち」の考え方のポイント

今後、かつてと同じように公共施設を維持・建替えしていくことはできません。

将来にわたって必要なサービスを維持・向上し、時代に見合った新たな価値を創出していくためには・・・

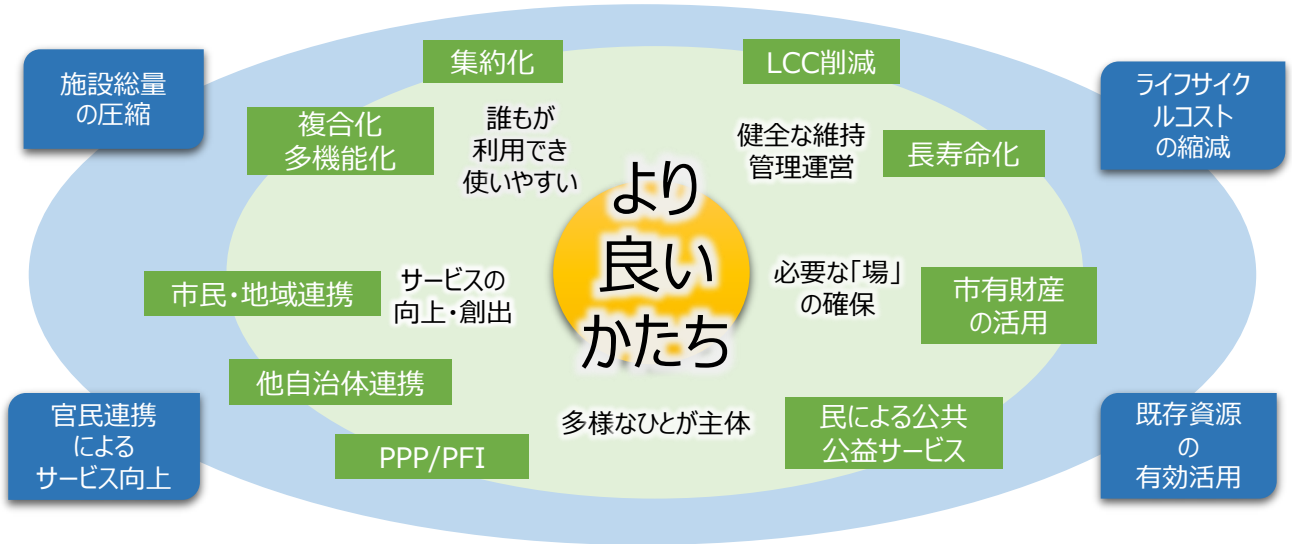
- 「これまで」のあり方を前提に考えるのではなく、「これから」を考える。
- ひとつひとつの単体機能の充実 から、機能や人がつながり連携することによる相乗効果もたらす価値ヘシフトする。
- サービスの受け手として、プレーヤーとして、サポーターとして、参加者として、多様な関わり方ができる場としくみにより、地域の貴重な資源・人材を活かす（できること・したいこと×ニーズのマッチング＝みんなが活躍）
- 必要なサービスを今後も維持するために、「より安く・より多く・より高度に」ありきではなく、サービスとそれに要するコストのバランスを考える。

※ インクルーシブとは、包含している、包摂的である、という意味です。例えば、障がい者や子ども、お年寄りや妊婦など多様な人がいることをそのまま受け入れ、予め包含してデザインすることをインクルーシブデザインといいます。

公共施設・公共空間の より良いかたち の実現に向けて

町田市では、これまでと大きく異なる社会環境の中でも、将来の町田を担う世代に負担を負わせることなく、施設を適正に維持管理することはもとより、新たな価値の付加や更なるサービスの向上を図っていくため、2016年3月に策定した「公共施設等総合管理計画（基本計画）」において、4つの基本方針と9つの取り組みを示しました。

公共施設の再編において、これらの取り組みを効果的に実施していくことにより、次の世代にも引き継げる 公共施設・公共空間 の より良いかたち を実現していきます



▼ 4つの基本方針・9つの取り組みの効果

効果	ねらい	寄与する主な取り組み
必要な「場」の確保	継続的に運営するための収益の確保や、市民や民間等との連携により、必要な「場」を確保します。	市有財産の活用、民による公共・公益サービス、市民・地域連携、PPP/PFI、他自治体連携
健全な維持管理運営	将来にわたって施設を安全に利用するための投資を適切に行う一方、可能な費用の削減を徹底し、メリハリある健全な運営により、必要なサービスや「場」を維持します。	LCC削減、長寿命化、集約化、複合化・多機能化
誰もが利用できる使いやすい	施設を複合または多機能にすることや、市民や民間等との連携により、多様なニーズにより沿ったサービスを提供することで、より多くの人々が利用する「場」を創出します。また建物と機能を切り離し、既存施設等を活用することで身近な場所でサービスが受けられる機会を増やします。	複合化・多機能化、市民・地域連携、PPP/PFI、他自治体連携、市有財産の活用
多様なひとが主体となって活動	地域拠点での活動や交流が活発になることで、コミュニティの強化や、多様なひとが主体となる活動が促進され、そこに携わる人々の生きがいややりがいが増やされます。	集約化、複合化・多機能化、市民・地域連携、民による公共・公益サービス
サービスの向上 新たなサービスの創出	PPP/PFI等による民間ノウハウの導入や、多様な主体が活躍することにより、満足度の高いサービスの提供や、新たなサービスを創出し、より魅力のある「場」や地域づくりにつながります。	複合化・多機能化、市民・地域連携、PPP/PFI、他自治体連携、民による公共・公益サービス

より良いかたちをイメージしてみました -再編後の将来image 1~8-

image 1 [建物と機能の分離]

箱から飛び出せ！

今までは、公共サービス＝公共施設だったけど、これからの時代はもっとフレキシブル。あなたの家で、近くのコンビニや小学校、公園や駅で。サービスがそれに見合った最適な方法や便利な場所で展開されます。

施設に拘らずサービスが提供されている

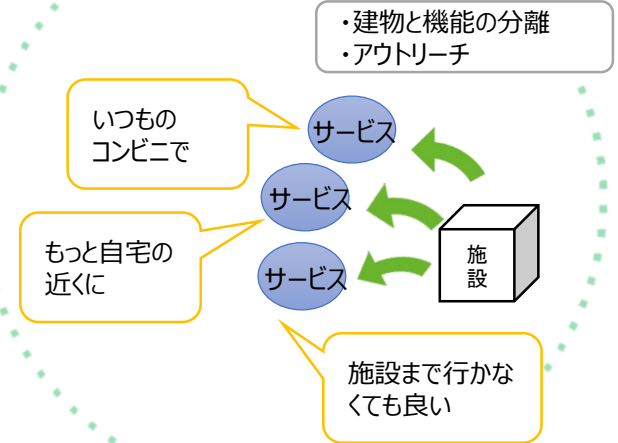


image 8 [集約]

コンパクトでコンパクト

できるだけコンパクトにし集中投資することで建物の安全性等を保ちます。全体の量は減るけれど、一つの施設でできるサービスが増えたり魅力的になることで、より多くの人々が利用する施設に。これまでにはなかった新たな出会いも生まれるかも!?

image 2 [アウトリーチ]

もっと自由に！ もっと近くに！

高齢化が進めば日常的な行動範囲は狭くなりがち。場所にこだわらなければ、もっとたくさんのサービスをより身近な場所で受けられるように。子育てパパママにも便利だね。

image 4 [市民主体・民によるサービス]

欲しいものは自分でつくる！

自分たちの欲しいものは自分たちが一番よくわかっている。あの人達っていつもイマイチなのよね・・・だったら自分たちでつくっちゃおう！はじめてみよう！あなたの得意なこと、誰かのために役立ててみませんか？

市民や民間による運営で満足度が向上

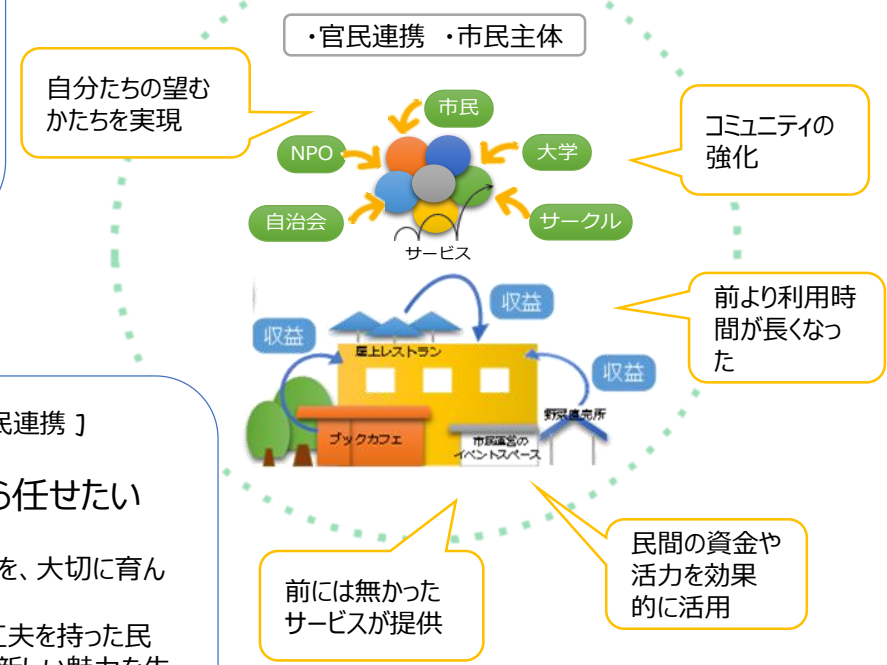


image 5 [官民連携]

あなたにだから任せたい

自分たちの大切なものを、大切に育ててくれる人に任せたい。信頼を置ける知恵や工夫を持った民間と手を組み、地域に新しい魅力を生み出します。

image 3 [多目的・多世代・共有]

私の好きな場所を みんなの好きな場所に・・・

いつの時代でも人との交流は大事。そこから生まれる新たな活動は地域にも活気を与えるはず。単身世帯や核家族が増えるからこそ、いろんな人とつながる場所が必要です。

基本計画で示した取り組みを計画的かつ効果的に実施していくことで実現する、これからの公共施設・公共空間のより良いかたちをイメージしてみました。

学校等を複合化し多様な 活動・サービスの拠点に

- ・複合化多機能化
- ・長寿命化
- ・多世代
- ・市民主体

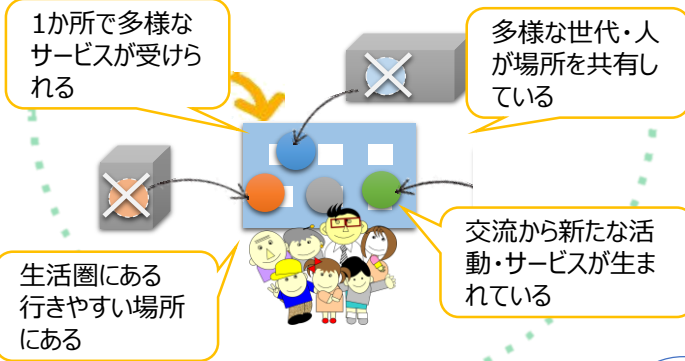


image 6 [複合化・多機能化]

思ってもみなかった 組み合わせ♡

1つのものができることは限られているけれど、複数のものが集まって組み合わせれば、できることが無限に広がる。料理のように思ってもみなかった組み合わせでとびきりのものが!?

遊休地・時間で新たなサービスや 賑わいが生まれている

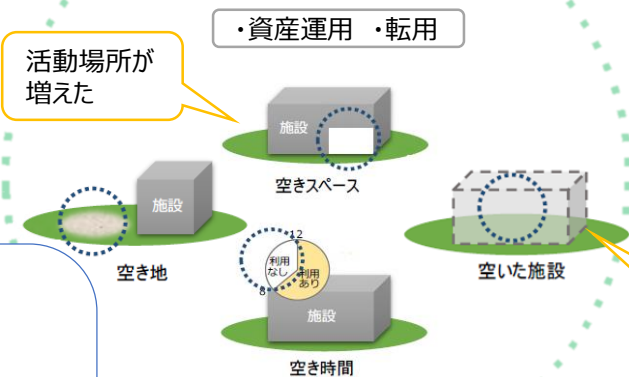


image 7 [総量圧縮]

断捨離！ 本当に必要なものが見えてきた

あれも、これも…。確かに欲しいものはないけれど、本当に必要なものを見極めて、持ち物はもっとシンプルにしてみよう。身軽になるともっといろんなことができるかも！

民による新しいサービスが展開

行けなかった施設が利用できるようになった